

京都商工会議所の動き

京都観光トップ会談について

記者配布資料：京都観光振興会議「トップ会談」開催について

6月24日、山田啓二京都府知事、門川大作京都市長、京都府観光連盟、京都市観光協会の柏原康夫会長と私の4人で、京都観光に関するトップ会談を初めて行った。本年4月に府・市へ提言した「京都観光 - 10年後に向けての構造転換に関する提言」に基づいて、本所が呼び掛けて実現したもので、それぞれのトップが、忌憚のない意見を述べ合い、大変有意義な議論を行うことができたと感じている。

私からは、主に以下の点について、発言させて頂いた。

今までの観光は、団体主体の「街の観光」が中心であったが、これからは京都に根付くたくさんの物語をベースとした、個人主体で学び、体感できる宿泊型の「ものがたり観光」が重要。

アジアからの誘客のためにも、人気のある他府県との連携が重要。

京都らしい景観が大事で、国際都市としてのモデルスタンダードの策定が必要。

そのほかの出席者からも、これからの京都観光に対して、さまざまな意見が出された。

また、今回のトップ会談では、「京都観光振興トップ会議」を新たに設置することを合意した。これは、観光施策の立案段階から行政・経済界が連携し、京都観光の課題を共通認識として捉える場で、組織の一元化を議論するものではない。

「京都 知恵と力の博覧会」の本所の進捗状況について

記者配布資料：京都 知恵と力の博覧会の進捗状況報告

この秋の「京都 知恵と力の博覧会」については、12の部会・女性会・青年部を通じて組織的に、参加イベントを募集してきた結果、6月28日までに、447件の応募をいただいた。これに京都府・市が計画している催しを加えると、当初目標としていた500件は達成できる見込み。

本所が取りまとめた中には、知恵博の機会を積極的に捉え、知恵を出して、創意工夫していただいたイベントも多い。こうした催しは、お客様も満足するイベントであるとともに、知恵博全体の盛り上がりにもつながるイベントであると感じている。今後は、テーマやエリアなどで区分しつつ、ストーリー性を持たせて、全体のつながりをどのように見せていくか、知恵を出し合い検討していかなければならないと考えている。

また、京都観光は5000万人構想を達成し、量から質への観光政策の転換が求められている。観光客を顧客として捉えて、データベース化し、多様なニーズを捉えることが重要だと考えている。知恵博にお越しいただく方々を顧客と捉えて、修学旅行生やお年寄り、外国人など顧客ごとの多様なニーズに応えられるように、私たち京都の一人ひとりが、それぞれの観光

客に応じたオーダーメイド型のおもてなしを実行しようと呼びかけたい。

第2回京商政策フォーラムについて

記者配布資料：「第2回京商政策フォーラム」の開催について

ニュー京商ビジョンに掲げた京商の政策提言活動を強化するために昨年度から始めた、全議員参加による「京商政策フォーラム」の第2回目を、9月25日に開催する。

今回は全体テーマを「京都の知恵を活かす～未来志向経営への構えを～」として、分科会は「不況に打ち克つ企業経営」、「未来の京都を見据えた人材育成」、「地球環境問題への対応」という3つのテーマに基づき、討議することにした。いずれも待ったなしで取り組むべき課題であると認識している。

本フォーラムでは部会、委員会の壁を越えて、全議員が主体性を持って今後の京都経済のあるべき姿を真剣に議論することにより、京都の明確な将来像を描き出し、その内容を府・市に対して提言・要望することにより、オール京都でビジョンを共有することに繋がるものと大いに期待している。

本所の雇用対策に関連する事業について

記者配布資料：本所主催「合同就職説明開催」について

本所では、人材開発特別委員会の新設など、本年度より「雇用」に関する取り組みに力を入れている。その中で、初めての試みとして、本所の主催による「合同就職説明会」を開催することになった。現在の雇用情勢の変化は、中小・小規模企業が優秀な即戦力人材を確保できるチャンスと捉え、求職者と中小企業を引き合わせる場を提供する。

出展企業は本所会員の中小・小規模企業から30社程度を見込んでおり、参加対象者は、来春採用の新卒学生から既卒者まで広く想定しており、個性的な中小・小規模企業と京都での就職を望む若者とのマッチングを期待している。

また、オール京都で取り組みを進めている「京都未来を担う人づくり推進事業」については、若年求職者の募集を開始したところ、定員の100名を大幅に超える600名もの方々が、採用説明会にお越しいただいたと聞いている。大学・企業で高度な専門プログラムを受講した人材を雇用できるので、京都の企業にとってはチャンスだと感じている。本所は側面的なサポートを行うことになっているが、期待を持って事業を見守りたいと思う。

記者からの質問事項

京都観光振興トップ会議に期待するものは何か？

「京都観光振興会議」は、事務局レベルにおける相互の調整が主たる内容で、施策議論まではできていない状況だった。トップ会議では、京都観光についての施策議論と共通認識を持つことが期待できる。

京都経済4団体の再編についての進捗状況は？

(事務局から回答)

3つの論点、重複事業の整理、共同ビルの建設、組織統合をどうするかということについて、各団体の専務理事・事務局長クラスの議論が現在進行形で続いている。6月8日には、類似事業の洗い出しなど、事業の連携について議論を行った。

4団体の再編について、事務局の検討を受けて会頭が結論を出すタイミングはいつになりそうか？

本所も京都工業会も共同ビルの建設については、実行レベルの企画にまとめていく時期が遠くないところにきていると思っている。組織の統合についてはまだまだ議論を要する見通しをもっている。

麻生首相の「政権交代は景気後退」という発言についてどう思うか？

日本経済の危機的状況からの脱出を実現するためにも、政治の安定を求めるのは産業界・経済界の偽らざる思いである。したがって、本格的な景気回復の兆しが見えるまでの政治的な混乱というのは回避をしてもらいたい。

野党に対しては、政権担当能力にまだまだ不透明な部分を持っているので、どのように政治を安定させながら、移行できるか読みづらい点がある。

衆議院議員選挙の争点は？

国民の安心、持続的な社会保障制度をどう組み立てるかという点と、政権担当能力を見極めるという点が争点になる。

以 上

京都観光振興会議「トップ会談」開催について

日 時 6月24日(水) 午前8時～9時
場 所 京都ホテルオークラ 3階 エディンバラの間

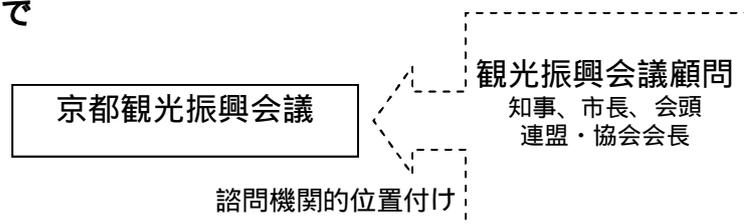
出席者 (順不同・敬称略)
 京都府知事 山田 啓二
 京都市長 門川 大作
 京都商工会議所 会頭 立石 義雄
 社団法人京都府観光連盟 会長 柏原 康夫
 社団法人京都市観光協会 会長 柏原 康夫

京都商工会議所 観光産業特別委員会 委員長 南 隆明

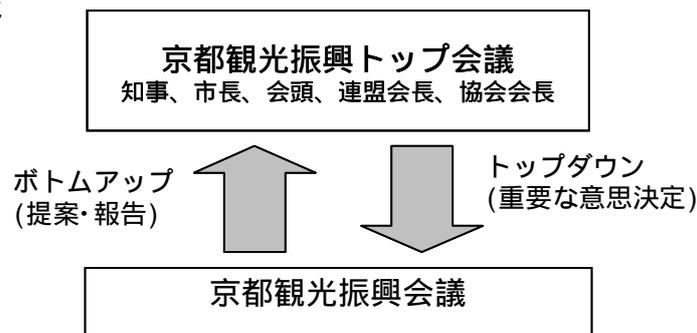
< 内容 >

本所から府・市へ4月に提言した「10年後の京都観光」について、各団体トップに提言の概要を観光産業特別委員会の南委員長から直接説明し共通の課題として認識してもらう機会を設けた。また、観光に関連する5団体トップが京都の観光について議論し、コンセンサスをつくる場として、「京都観光振興トップ会議」を新たに設置し、必要に応じて今回のような議論する場を随時設定することで合意した。

これまで



今後



本件ご連絡先 本所 産業振興部 商工振興担当 金井 TEL : 075-212-6444

京都 知恵と力の博覧会の進捗状況（報告）

【知恵博への参加イベント応募状況～京都商工会議所取りまとめ分】

部会・女性会・青年部の代表で構成する「知恵と力の博覧会京商実行委員会」を中心に知恵博への参加イベントを募集。6月28日現在の応募状況を以下の通り報告します。なお、知恵博推進協議会の構成団体の協力を得て本所がとりまとめたものも含まれます。

秋の紅葉シーズンでもあり、恒例の観光イベントのほか、この機会を企業PRの場として積極的に捉え、創意工夫のある、いわゆる知恵を出した参加イベントが集結いたしました。

主催者	登録件数	分類			
		イベント	体験	割引・記念品	公開・展示
企業	226	76	63	75	70
団体	63	40	3	7	18
文化施設	69	15	5	14	45
神社・寺院	89	17	0	2	74
合計	447	148	71	98	207

今後、これらの登録イベントをエリアに分け、特に集積が著しいところは、エリアPRを検討します。

京都御所エリア

秋の京都御所一般公開にあわせて、冷泉家住宅、同志社大学各校舎、平安女学院有栖館

などの文化財登録建造物を中心に、神社・寺院の施設公開、伝統工芸の体験工房、ホテルでの飲食サービスなど様々なジャンルのイベントが集積しています。

伏見エリア

11月下旬の新酒のころ、新酒ふるまい、酒蔵公開を中心に、新聞印刷工場や企業の工場見学、伝統工芸工房見学、寺田屋など龍馬ゆかりの施設、商店街の周年事業、三十石船運行、景観の美しさなどが集積しています。

岡崎・南禅寺エリア

無鄰庵、何有荘をはじめ、公開・非公開の名庭園が10以上もあります。庭園を中心に、南禅寺・平安神宮など寺院・神社、美術館などの文化施設が集積しています。

ただ今、非公開の庭園の公開について依頼中。

その他のエリアについても今後検討中。

本件ご連絡先

本所 産業振興部 商工振興担当 神保 TEL：075-212-6442

「第2回京商政策フォーラム」の開催について（案）

1 趣 旨

- (1) 「ニュー京商ビジョン」の展開において政策的な協議とアピール
- (2) 全議員が会議所運営の主導的立場に立って意見発表する場の創出

2 実施概要

- (1) 日 時 平成21年9月25日（金） 14:00～19:00
- (2) 場 所 京都ブライトンホテル
- (3) 主 管 産業政策委員会
- (4) 規 模 会頭・副会頭ほか全議員、行政関係者、学識者、その他団体関係者（発表者等含む）が対象
- (5) 全体テーマ 「京都の知恵を活かす ～未来志向経営への「構え」を～」
- (6) スケジュール

時 間	項 目	内 容
14:00～14:05	開会挨拶	会頭 立石 義雄
14:05～14:20	問題提起	産業政策委員会委員長 堀場 厚
14:20～14:30	（休憩・分科会会場へ移動）	
14:30～17:15	分科会討議	分科会 不況に打ち克つ企業経営 分科会 未来の京都を見据えた人材育成 分科会 地球環境問題への対応 （途中15分間休憩）
17:15～17:30	分科会発表	各分科会から討議内容発表 （5分×3分科会）
17:30～17:45	総括	産業政策委員会委員長 堀場 厚
17:45～17:50	所感	会頭 立石 義雄
17:50～18:00	（休憩・懇親会会場へ移動）	
18:00～19:00	懇親会	挨拶・所感 副会頭（未定） 乾杯・所感 副会頭（未定）

本件ご連絡先

本所 企画室 政策担当 中上、日野 TEL：075-212-6402



京都商工会議所主催

「合同就職説明会開催事業」について

厳しい経済・雇用情勢が続くなか、京都の中堅企業の人材確保・育成を支援するため、京都商工会議所主催の合同就職説明会を初めて開催致します。

本事業は、中小企業庁「中小企業経営支援等対策補助金」を活用するものです。

【概要】

開催日	<u>平成21年10月1日(木) 正午～午後5時</u>
会場	<u>京都新聞文化ホール〔京都新聞社 7階〕</u>
主催	京都商工会議所
後援	京都新聞社(予定)
実施内容	企業別面談コーナー(ブース)、資料コーナー等を設置
出展企業	京都商工会議所会員の中堅(中小・小規模)企業を中心に 30社
出展料	1社 31,500円(税込)
参加対象	平成22年3月卒業見込みおよび第二新卒等の既卒者など
参加費	無料
参加人数	900名(予定)

【今後の予定】

7月初旬～	出展企業の募集開始
7月下旬～	出展企業の決定
7月下旬～	開催事業の広報開始
8月下旬～	参加者募集の広報開始(ポスター、チラシ等)
9月中旬～	参加者募集・新聞掲載

【本件担当】

京都商工会議所 会員部(武内・高木) 075-212-6441